

令和 8 年度

高規格救急自動車購入仕様書

赤磐市消防本部

目 次

項 目	ペ ー ジ
第 1 総 則	1
第 2 提出書類及び検査	1 ～ 2
第 3 車両及び車種	2 ～ 3
第 4 仕 様	3 ～ 1 0
第 5 塗色及び記入文字	1 0 ～ 1 1
第 6 補 則	1 1 ～ 1 2
第 7 留意事項	1 2
高規格救急自動車取付品	1 3 ～ 1 8

第1 総則

- 1 この仕様書は、赤磐市消防本部（以下「当本部」という。）が令和8年度消防施設整備計画に基づいて整備する、高規格救急自動車（以下「車両」という。）の艤装及び高度救命処置用資機材の整備等について必要な事項を定める。
- 2 この車両は、救急業務実施基準及び道路運送車両法並びに道路運送車両の保安基準等各種の関係法令に適合するものとし、完成後は中国運輸局岡山運輸支局の検査に合格し、緊急自動車（緊急自動車届出を除く）として新規登録手続きを完了したものを納車すること。
- 3 車両の製作は、安全基準の明確化によりISO認証取得による品質管理システムによって行われるとともに、本仕様書及び承認図書により艤装され、装備品は最新の機種、新品を使用すること。
- 4 主要装備は本仕様書に定めるほか、自動車メーカーが公表した最新標準装備とする。
- 5 車両は機動性、操縦性、車両安定性が高く、かつ室内は居住性、静粛性に優れ（室内においてサイレン吹鳴時に50db以下）、業務の遂行が迅速に行える広い空間を有していること。
- 6 契約後に疑義が生じた場合は、全て当本部の解釈に従うものとする。なお、仕様についての説明並びに補足説明及び質疑応答に関する事項は、すべて本仕様の補完事項とし、この仕様書に記載のない事項についても良心的に対応すること。
- 7 受注者は、契約後2週間以内に当本部と細部についての打合せを行い、打合せ後10日以内にその内容についての記録を提出すること。
なお、打合せ後仕様に係る資機材等に型式、形状等の改良、変更が生じた場合には同等品以上の製品により代替を可能とするが、製品並びに資料等の提示とともに、事前に当本部の了承を得ること。
- 8 仕様変更を行う場合は、理由書及び図面等を添えて発注者の承認を得ること。

第2 提出書類及び検査

- 1 受注者は、艤装に先立ち、次の関係図書を速やかに当本部に提出し、当本部の承認を得たのちに製作に着手すること。（提出部数は各2部）
なお、1部は承認した旨を付して受注者に返却するので、双方が製作の過程における参考資料とする。
 - （1） 製作工程表
 - （2） 車両五面図
 - （3） 室内配置図
 - （4） 電気配線系統図
 - （5） インパネ図
 - （6） 主要諸元表
 - （7） 発注者が提供する所定の様式に、車両の艤装、取付け付属品、資機材の品名・規格・形式・数量・単価等を記入した価格明細表
 - （8） その他当本部が指示するもの
- 2 艤装の進行にともなう諸種の事由及び本仕様書並びに承認図書の内容等に不具合が生じ、変更を余儀なくするとき、または不審な点が生じたときは、速やかに当本部に連絡して担当者の指示に従うものとする。なお、変更する内容等については双方が協議の上、確認書等を取交わして誤りのないようにすること。
- 3 受注者は納入時に次のものを当本部に電子媒体、または紙媒体で提出すること。

- | | | |
|-----|-------------------------|-----|
| (1) | 完成車の写真（カラーサービスサイズ） | 2部 |
| ア | 斜め（概ね45度）からの前後の左右面（各1枚） | |
| イ | 両側面及び前後（各1枚） | |
| (2) | 艀装及び積載関係図書 | 各2部 |
| (3) | 自動車及び救急用資機材、取付品等の取扱説明書 | 各2部 |
| (4) | 自動車検査証（A4版） | 1部 |
| (5) | 自動車損害賠償責任保険証明書（A4版） | 1部 |
| (6) | 自動車検査証（A4版） | 2部 |
| (7) | 自動車損害賠償責任保険証明書の写し（A4版） | 2部 |
| (8) | E T Cセットアップ証明書 | 1部 |
| (9) | 保証書及びその他当本部が必要と認めるもの | 必要数 |
- 4 検査は中間検査及び完成検査とし、中間検査については、資料の提出をもって行うものとし、完成検査については、当本部係員の立会いの上、仕様書等に基づいて実施する。また、受注者が検査を受けようとするときは、検査予定日の1か月前までに検査計画書を提出し、当本部の承認を得ること。なお、目視できない箇所については事前に写真撮影し、検査時に資料として提出すること。
- 5 検査の結果、当本部が不合格とした箇所については、受注者は速やかに修理・修復し、再検査を受けること。ただし、再検査に係る費用は受注者が負担する。
- 6 検収は、陸運支局の新規登録検査に合格後、当本部が本仕様書に基づく内容及び作動の状況等の検査を実施し、良好と認めたのち受注者より車両等を受領して完了とする。

第3 車両及び車種

1 車両

(1) 主要寸法等

ア 車両

(ア)	全 長	5, 300mm以上	5, 800mm以下
(イ)	全 幅	1, 800mm以上	1, 900mm以下
(ウ)	全 高	2, 400mm以上	2, 550mm以下

イ 室内

(ア)	全 長（患者室）	3, 320mm以上
(イ)	全 幅	1, 700mm以上
(ウ)	全 高	1, 800mm以上

ウ 乗車定員 7名以上

(2) 車 種

ア 駆動方式は4輪駆動とする。

イ エンジンは総排気量2.5Lクラス以上の水冷4サイクルガソリン仕様で、最高出力は140ps以上であること。

ウ 変速装置はオートマチックトランスミッションとし、変速機構はメーカーの標準仕様とする。

エ A B S（アンチロックブレーキシステム）装着であること。

オ 燃料タンク容量は65L以上であること。

カ 運転席及び助手席は、SRSエアバック装置、自動ブレーキ、車線はみ出しアラート、自動ハイビーム、全方向モニター、横滑り防止装置、発進加速時空転防止装置付きとする。（メーカーオプションが無い場合は当本部と協議）

- 2 取付装備品はメーカー公表の標準装備品のほか、仕様書によるものとする。

第4 仕様

1 全般

- (1) 車体はシャーシ及びボディ並びにユニット等の付属品から構成されるものとする。
- (2) 艤装は総体的な重量の軽減を図り、前後軸及び左右にかかる荷重のバランスを十分に考慮して施工すること。
また、構造材及び取付品の設置にあつては堅牢、確実に取付け、離脱、緩み等が起きないように配慮すること。
- (3) 車両に使用する材料及び部品は、特に指示するものを除き日本工業規格品若しくはこれと同等品以上の新規または新品のものを使用すること。
- (4) ネジ類は、ISOネジまたはこれに準ずるものを使用するとともに、主要部及び緩みの発生しやすい部分のボルトには、ダブルナットまたは特殊ナットを用いること。
また、小ネジ、ビス等には緩み止めのシール剤を付加すること。
- (5) 主要構造部には、一般構造用鋼材を使用すること。
- (6) その他の材料は次によること。
 - ア 内装材はすべて難燃性のものを使用すること。
 - イ ゴム製品はすべて耐油性の合成ゴムを使用すること。
 - ウ 木材を使用する場合は十分乾燥したものを扱い、形成後の変形、割れ等の生じにくいものを使用すること。
- (7) 車両及び架装全般については、耐久性、防水性並びに防錆性を十分に考慮して施工すること。
- (8) 使用取扱い上の安全性及び操作性を十分に配慮したものであること。
- (9) 完成車は当本部の意に沿うものを目的としていることから、艤装に係る形状及び構造等の詳細については別途当本部と十分な協議をすること。

2 車体

- (1) 車両は、積載する救急資器材及び観察資器材を用いた業務の遂行に支障のない空間と緩衝性を有していること。
また、仕様に基づく重量においても、傷病者に悪い影響を与えず、資機材の機能を損なうことなく安全、確実に積載、運用できること。
- (2) タイヤはスペアタイヤを含め車両総重量に合った国産ラジアルタイヤとし、ホイールとタイヤの適合性も十分に考慮すること。また、国産スタッドレスタイヤ及びワンタッチ式のゴム製タイヤチェーン一式を装備すること。
- (3) オルタネーターは12V-150A以上とし、オートアイドルアップシステムを備え、車両装備及び積載資器材に対して十分な電気容量を確保できるものであること。
- (4) バッテリーは次によること。
 - ア バッテリー容量は12V-120AH（20時間率）以上とする。
 - イ 設置位置は床下の引出し式若しくは速やかに整備できる定置式とする。
また、ターミナルとの接続及び固定は安全性の高い方式とすること。
 - ウ バッテリーの配線は、第2種キャプタイヤケーブル、またはこれと同等以上のものを用いること。
なお、バッテリーからの直取り配線の場合には容量以上のコードを用い、回

路にはヒューズを付加すること。

- (5) 艀装における電源の取出し、配線及びケーブルは機器の容量、消費等を加味して施工すること。特に無線電話及び電子サイレンの接続には雑音障害等に十分留意すること。
- (6) 取付装備品の電源は車両ヒューズボックスとは別に特装用ヒューズボックスを設けて取出し、回路には個々の配線表示をすること。
- (7) 運転室はメーカー標準とし、運転室左右のドアにはサイドバイザーを設けること。
- (8) 傷病者室は資器材の収納庫及び各種機器を設置する棚、その他の収納部が設けられること。
- (9) 傷病者室と運転室の間は容易に移動できる構造とすること。
- (10) 車両側面のドア（以下「側面ドア」という。）は傷病者等の乗降及び各種資器材の搬入、搬出に支障のない幅と高さが確保されていること。
- (11) 後部ドアは傷病者等の乗降及びメインストレッチャーの積載に支障のない幅と高さを有した、跳ね上げ式とする。また、乗降口には大型の手すりを設けること。その形状については別途協議する。
- (12) 運転席において全扉の施錠及び開錠ができるように、集中ドアロック装置を設けること。
- (13) 側面ドア並びに後部ドアには半ドア防止装置を設けること。
- (14) 助手席左側ドアの指定位置に隊長用ドアミラーを取り付けること。
- (15) 障害物コーナーセンサーをメーカー設定位置に設けること。
- (16) 動力伝達装置には、盗難防止又は誤発進防止のための改造装置を設けること。
- (17) フロントグリルまたはパネルの中央部にクロムメッキ仕上げの消防マーク（φ 150mm）を取り付けること。
- (18) 内装は次によること。
 - ア 彩色はメーカー仕様とするが、傷病者に不快感を与えないものであること。
 - イ 傷病者室の床面は雨天時の救急活動で、室内が濡れ又は汚れても滑りにくく、清掃しやすいものとし、水拭きに耐える材質で、防音、防熱加工を施すこと。
 - ウ 天井は形成部材とし、屋根部との間には十分な断熱材及び遮音材を付加したものであること。また、ルーフ取付け機器の点検が容易に行える構造とすること。
 - エ 室内での移動等に利用するアシストグリップ等を要所に設けるとともに、出入口等で手を掛けると予測される部材は堅固に固定すること。
 - オ カーナビゲーション（最新地図データを内蔵、VICS付、テレビ放送は受信しない構造とする。）は可能な限り全方向モニターとし、所定の位置に取り付けること。

なお、全方向モニターは前部、両側部、後部ドア上部付近（全体が見渡せる位置）に設けること。また、可能な限り車両前方左右・側方・後方を映し出すシステムを設けること。
 - カ ETCはカーナビゲーションと連動し、運転室へ車両操作に支障がないところへ取り付けること。セットアップは受注者側の負担で行うこと。
 - キ ドライブレコーダー（車外前後・車内録画タイプ）は最長時間記録可能な記録媒体を付属し連続録画、衝撃検知録画を可能にすること。
- (19) 照明は次によること。

ア 傷病者室の天井部にはＬＥＤ照明を配置し、必要により明るさの調整ができる機能があること。

また、傷病者の症状観察及び処置に必要な患者灯を付加すること。

イ 運転室の助手席側にはフレキシブル型のスポットランプを設けること。

ウ ドアの開放に連動する室内灯またはステップ灯を設けること。

エ 後部ドアには角度調整機能が付いたスポットランプを付加すること。

なお、スイッチは観察用の患者灯とは別に設けること。

オ ヘッドランプはＨＩＤ若しくはＬＥＤで、オートレベライザー付きとする。

可能な限り標準より明るく、夜間及び雨天の走行時に支障のないようにすること。

カ 可能な限りＬＥＤを使用すること。

キ 車両の左右にＬＥＤ作業灯を前後２灯ずつ、計４灯を設けること。また、運転席、傷病者室に容易に切り替えができるスイッチを設けること。

(20) 傷病者室側面のガラスはプライバシーガラスとし、下部３分の２にくもりフィルム（すりガラス状）を貼り付けること。

(21) 座席は次によること。

ア 運転室の座席数は２座で、リクライニング及びスライド機構付のシートとし、３点式のシートベルトを付設すること。

イ 傷病者室の指定位置には、２点式シートベルト付の、後向き跳ね上げ式シートを設けること。

ウ 側面（左側）に設ける座席（サイドシート）は、３点式シートベルト付の前向き一人掛ハイバック折りたたみシート及び横向きシートとする。なお、横向きシートにはシートベルトを所要数取付けるが、使用しない時には整理ができ支障の無いものであること。また下部には収納スペースを設けること。

(22) 車両工具は、車両純正品（一式）を装備すること。なおジャッキは、積載状態においても当該車両の車輪を地面から離隔可能な能力を有するものとする。

3 取付装備品

車両取付品は別表に掲げるものとし、主な取付けは次によること。

(1) 屋根上取付品

ア 屋根上の指定位置には次のものを取付けること。

(ア) 前部散光式赤色警光灯（自動可変式） 1 式

(イ) 後部側面用散光式赤色警光灯（自動可変式） 1 対

(ウ) 消防無線用アンテナ 1 式

（取付け等については別途協議すること。）

イ 屋根上の取付けにあつては、十分に強度のある補強を施し、雨水等が侵入かつ溜まらず、腐食しないように施工すること。

ウ 散光式赤色警光灯は、ビルトインタイプの車両一体型でハロゲンバルブ又はＬＥＤ式とし、被視認性の高いものとする。なお、球切れ等が発生した場合にも容易に改修できるものであること。

エ フロントバンパーの指定位置及び側面ルーフに前後２灯ずつ計４灯、後部ドア付近に高輝度ＬＥＤタイプの赤色点滅灯及び作業等を設けること。なお、前後の散光式赤色警光灯及び全部の赤色点滅灯は同一スイッチで連動するものとし、点滅リレーには防音を施すこと。また、後部跳ね上げ式ドア下部裏面に取付けの赤色点滅灯は、後部跳ね上げ式ドアの開閉に連動し点滅するものとする。

詳細は別途協議すること。

オ アンテナは相互に干渉しないように保有距離を確保するとともに、送受信に支障のないものであること。

(2) 無線電話装置等

ア 車載型無線機については、デジタル無線機を載せ替え取付けること。取付けに必要な配線工事等（デジタル無線機及びAVM装置取付けに備えた対応を含む）はしておくこと。

また、車両動態管理（AVM）システムを載せ替え取付け、各出力線等を準備すること。（バック信号出力線、ACCからの出力線、バッテリーからの直接線、車速パルス出力線等）

イ 無線機本体は運転室の指定位置に取付けること。（別途無線取付け業者と協議すること。）

ウ スピーカーの取付け位置について、前部は運転室で音声聞こえやすい指定位置とし、後部は傷病者室指定位置に取付け、スピーカーと個別にミュートスイッチにて音量を調節できるようにすること。

エ 送受話器はハンドマイク型とし、運転室及び傷病者室の指定位置に設け、各々からでも使用できるようにすること。

オ 電源線は車両及び電子サイレンアンプからの障害を受けないようにするとともに、アンテナ等の配線は十分な被覆のあるものを使用し、プリカチューブ等の保護配管を用いて、天井及び側板の裏に埋設させること。

カ デジタル無線機及びAVM取付けにあつては、当本部が指定する業者と協議したうえで行うものとし、詳細については当本部と別途協議すること。

キ 傷病者室にスマートフォン対応型ホルダ（製品がない場合はマジックファスナー等）を取付けて電話を固定できる構造とするとともに、傷病者室の指定位置に充電機能を設け充電できる構造（USB TYPE-Cポートを2口設置）とすること。

(3) 電子サイレンアンプ

ア サイレンは、「救急自動車に備えるサイレンの音色の変更について」（昭和45年6月10日付け消防防第337号通知）のとおりとする。

イ 運転室の指定位置にインダッシュに取付け、外部スピーカーから拡声できるようにすること。

ウ サイレン吹鳴用スピーカーは車両指定位置に設けるが、本体は全天候性に優れ、スピーカーは入力が大きく、音声明瞭なものであること。

また、サイレン吹鳴音が室内に反響しないよう十分な遮音材をドア、天井、サイドパネル等に付加すること。

エ 電子サイレン「ウー音」は、警告効果が高いものであること。また、起動は「ピーポー音」連動とし、切り替えプッシュスイッチ（ウー音）は、助手席及び運転席側に取り付けること。

オ 音声合成装置の再生メッセージ（女性音）のスタートは次によること。

（ア） 「救急車が通ります。道をあけて下さい。」は付加スイッチにより発声させること。

（イ） 「交差点に進入します。ご注意ください。」は付加スイッチにより発声させること。

（ウ） 「右（左）へ走行します。ご注意ください。」は車両の方向指示器と連動させること。

(エ) 「ご協力ありがとうございます。」は付加スイッチにより発声させること。

(オ) 音声合成装置の音声は緊急走行時のみ拡声するものとするが、必要により緊急時でも音声のカットできるスイッチを設けたものであること。

カ 配線等においては、車両及び無線電話からの障害がないように配意し、アンプの保護に配意すること。また、電子サイレンアンプの詳細については当本部と別途協議すること。

(4) 冷暖房及び空調

ア 冷暖房装置は運転室及び傷病者室を効率的に、かつ快適な環境をつくる能力と機能を備えたものであること。

また、除湿等においての水滴が車内に漏れない構造とすること。

イ 傷病者室には騒音の少ない車両用換気扇を設けること。

なお、取付けについては外部から雨水等が浸入しない構造とすること。

(5) 収納庫及び積載棚

次により設けることとするが、詳細については当本部と綿密な協議を行うこと。

ア 大型資機材収納キャビネット等は、傷病者室前方右側及び左側に設置し、数段の仕切りを設け、各種の観察機器及び処置用資機材が効率よく設置され、収納が十分にできるものであること。

イ 運転室の座席後部や天井部の空間及び傷病者室の空間を利用した収納にすること。

ウ 傷病者室の上半身部に近い部分の側面収納棚にある引き出し等には、患者が不意な嘔吐をしても吐物が入らないような配慮をすること。

エ 棚及び収納庫は必要により形状あるいは構造の変更が行えるものであること。収納庫の一つを鍵付きのものにすること。

オ 傷病者室右後部にスライド式扉タイプの収納庫を設けること。

カ メインストレッチャー右側へ窓下側面収納庫を設けること。

キ 左右のルーフサイドに収納庫を設けること。

ク 傷病者室前方右側の指定する位置にディスポグローブ 3 箱、マスク 1 箱、ペーパータオル及びウエルパス収納庫、書類入れ等を設けそれぞれが容易に交換可能な固定装置を設けること。

ケ 収納庫に設ける扉及び引出しには振動または積載物の移動によっても開放しない構造にするとともに、棚にあっても落下、飛び出し等がないように配意すること。

コ 収納庫等の底面及び積載機器の固定装置にはゴム板等の緩衝材を付けること。

サ 横向きシートの下部は収納枠を設けて器材の収納ボックスとする。

また、上部はサブストレッチャーを載せる架台としても使用するので、十分な強度を持たせるとともに、ストレッチャーを固定できるベルト等を設けること。

シ 車内天井部及び収納庫内には必要な点検口を設けること。

ス 運転室には、今後装備機器が追加されることを考慮し、使用に基づく機器の設置については追加分も含め当本部と十分に協議するものとする。

セ 自動体外式除細動器（T E C—2 6 0 1）は、載せ替え取付けること。

(6) 電装品

ア 車載用インバーター（A C 1 0 0 V 変換用）を積載して、車内に設けた A C

100V出力コンセントから積載機器の使用並びに充電が可能にすること。なお、これらの回路はAC自動切り替え式とする。

イ 車載用コンバーターを積載し、外部電源（AC100V）から12V電装品を使用可能にする。（傷病者室天井蛍光灯等）

ウ 外部電源からバッテリーの自動充電を可能にすること。

エ 各電装品に必要な予備電球、予備ヒューズを附属すること。

オ 運転席右上の指定位置にフレキシブル型マイクを設置し、容易な操作で外部スピーカーから注意を促すことができるようにすること。

カ 後部跳ね上げ式ドア下部裏面には開放時に後方からの視認性が高いLED発光式（赤色）の点滅停止表示灯を取り付けること。なお、点灯は警光灯と連動させること。

キ フロントルーフサイドにサイドフラッシャーランプを、また左右の後輪の前に路肩灯（LED）を設けること。

ク 車両後退時の注意を外部に促す音声合成式の警報機を設けること。

なお、警報器はメインスイッチにより切れる構造とすること。

ケ 動力伝達装置には盗難防止又は誤発進防止のための装置を設けること。

コ 運転室の指定位置に時計、電流計、電圧計を設けること。

(7) スイッチ及び配線

ア 電装関係のスイッチ等は運転室の指定位置に設け、個々に表示を付すこと。

イ 特装関係の配線は自動車関係の配線とは別にヒューズボックスを設け、その旨を個々に表示すること。

ウ 配線には容量のあるものを用い、努めて埋設するものとし、アース設置部は緩み防止を行うとともに、結線部は強固にすること。

また、回路に設けるリレー等には防音、防振等の措置を施すこと。

エ 車両に設けるコンセントは、AC100V用のコンセントを所要数設けること。

オ 外部入力用マグネット式コンセント（AC100V）をリヤバンパー左右いずれかに設け、外部入力ケーブルは10mとする。また、外部電源コードを接続状態ではエンジンスタートができない構造とすること。

カ コンセント類は埋込み型とし、ソケットタイプは蓋付とする。なお、傷病者室には2口以上のものとし、コンセントを指定する位置に必要な数設け、運転室には2口コンセントを運転席後部に設けること。

キ 傷病者室の電装用スイッチ及びコントロールは容易に操作できる位置に設け、各々にはその旨の表示をすること。

また、用いるスイッチ等は容量が十分あるものを使用すること。

(8) その他の取付品は次によること。

ア 車両後部には大型のステップを設け、その上面は滑り止め処置を施すこと。

また、ストレッチャーと接触する部分には全面金属で覆うこと。

イ 運転室の指定位置にA3サイズの地図が容易に入る地図入れを取付けること。

ウ 車両後部のバンパーには滑り止め加工を施したリアバンパープロテクターを取付け、塗装部の保護と安全を確保すること。

エ 運転室から傷病者室に至る通路の上面には床マットを設けること。

オ 全シートに防水シートカバー上張りをつけること。

4 救急装備品

救急装備品は別表に掲げるものとするが、主な器材の設置は次によること。

(1) 酸素吸入装置

- ア 医療用加湿酸素流量計はN S Y型とし、2口以上とする。
- イ 積載酸素ポンベは10L型2本とし、固定装置は個々に着脱できるもので容易に取替えが可能な構造とすること。
- ウ 吸入装置の高圧用配管は努めて内張りの裏側を通し、室内に露出させないよう施工すること。
- エ 配管は耐圧、耐久性に優れた高圧用で、走行中の振動、衝撃等に十分に耐える安全な材質のものとすること。
- オ 配管は送気側の接続口、三方チーズ、取出し用接続口を適宜設けるとともに、配管の離脱、漏れ等が生じないように確実に設置すること。
- カ 傷病者室の指定位置に加湿器、酸素マスク等の収納庫を設け、取出し用カバーに容易に接続できる構造であること。
また、水容器は耐圧型とし、万一、破損しても傷病者及び同乗者に危害を与えないものであること。
- キ 加湿酸素流量計の直近に、酸素マスク等の収納庫を上下2段もしくは前後又は左右で取付けること。

(2) 防振装置

- ア ストレッチャー防振架台は、走行時における路面起因の振動及び衝撃を低減し、患者の負担軽減及び搬送時の安定性確保に寄与すること。方式は無電源式または空気式とすること。
- イ 車両の加速度等により生ずる揺れ、振動、沈み等を十分吸収できるものであること。
- ウ 業務遂行上、必要により防振を解除（固定）できる機能があること。
- エ 左右へのスライドは5段階以上のスライド固定機能を有すること。
- オ 当本部が指定するメインストレッチャーの積載等が容易であるとともに、固定が確実にかつ離脱が速やかであること。
- カ 固定台座にストレッチャー落下防止ガイドを取り付けること。
- キ 固定台座には水洗い等に対する防水及び防錆措置を施すこと。

(3) ストレッチャー等

- ア メインストレッチャーはファーノ製エクステンジストレッチャーとし、両サイドアームはリリースシンケージシステムを設け、さらに両サイドアームにはマット付のプレートを取り付けること。
- イ スクープストレッチャーはファーノ製モデル65EXLとし、傷病者室内の指定位置に専用の取付金具を用いて隔離して積載できるようにすること。なお、取付金具は振動等で緩まないように確実に固定すること。
- ウ バックボードは傷病者室の指定位置に専用の取付金具等を用いて隔離して積載できるようにすること。なお、バックボードは容易に取出しができ、傷病者等に危害が生じないよう配慮すること。

(4) 自動車電話（携帯電話）

- ア 自動車電話（携帯電話）は傷病者室の指定位置にAC100V出力コンセント方式の充電ができるように設置すること。
- イ 電源等の配線は努めて室内に露出させないよう配慮すること。
また、各種機器の付属コード及び接続コード等は整理して収納できるようにすること。
- ウ 電話の装置は形態により変更ができること。

エ 自動車電話（携帯電話）は旧車両のものを載せ替えとするが、電話機本体及びワイヤレスイヤホンの両方が同時に充電できるよう、コンセントを２口設けること。

オ 機種により形態等も異なるため、設置位置等別途協議すること。

(5) 患者監視装置、人工呼吸器及び携帯型ＡＥＤさらに自動式心マッサージ機等の機器は操作が容易な位置に設置すること。また、データの取出し並びに測定のための付属コード、チューブ類は接続した状態で設置するため、適当な容量のポケット及びフック等を設けて収納できるようにすること。

(6) デジタル式時計及び温湿度計は確認しやすい位置に設けること。

(7) 点滴フック及び点滴容器固定装置は指定位置に設けるが、下肢部への行為についても配慮すること。

(8) 廃棄物入れは傷病者室の指定位置に設けるが、容器の取出し及び物の投入が容易な構造とすること。

(9) 電動吸引器は指定位置に専用のホルダーを設けて設置し、持ち出し及び取付けた状態でも使用できるようにするとともに、直近に電源ソケットを設けて充電を可能にすること。

(10) その他

ア 傷病者室の指定した位置にホワイトボードを取付けること。

なお、マグネットタイプの赤・青・黒色ペン、ホワイトボード消し、書類添付用マグネットを必要数付属するもの。

イ 傷病者室の天井部及びルーフサイドの指定位置に必要な数のアシストバー及びアシストグリップを設け、天井部にはルーフネットを取付け小物器材が収められるようにすること。

ウ レスキューセットは、車両右側面に専用収納ボックスを設け、収容できるようにすること。

エ 吸引器の指定位置下部に脱着式トレイを設けること。

オ 取付金具、製作金物等は形状による危害防止に十分留意すること。

カ 各種機器に付属するコード及びチューブ等は傷病者の顔面にかからないように配置をすること。また、機器の設置においては防振措置を十分に施すこと。

キ 他の処置用資器材は形状及び用途を勘案して収納庫、棚、ポケット等に収納して積載できるようにすること。詳細については、別途当本部と協議すること。

ク 傷病者室の指定位置に小物用のフックを５箇所以上設けること。

第５ 塗色及び記入文字

１ 塗色

(1) 車両外装は救急車色の白を基調とし、車体周囲に幅９０mmを基本とする赤帯、赤帯から間を開けず幅２０mmを基本とする青帯（側面及び後面については再帰性に富んだ反射材）を付すること。後部ドア下部に幅２０mmの赤帯、幅９０mmの青帯を付すること。

(2) 塗装保護のため、車体コーティングを実施すること。

(3) 詳細については別紙１「車体塗装詳細図」を参考にし、別途協議する。

２ 記入文字

(1) 車両の運転席ドア、助手席ドアの指定位置に青色のカッティングシートで当本部固有の車両番号「１２」を表示。

(2) ボンネット及び後部ドアの指定位置に青色のカッティングシートで「あか

いわ 1 2」を表示、後部ドア下部に青帯と赤帯を表示。車両側面の指定位置に「赤磐市消防署」を表示。

- (3) 車両側面上部の指定位置に、青色のカッティングシートで「AMBULANCE」を表示。
- (4) 周囲赤帯上に、「AKAIWA FIRE DEPARTMENT」と白のカッティングシートで表示。
- (5) 屋根上部の指定位置に対空表示として「あかいわ救急 1 2」と黒色カッティングシートで表示。
- (6) 燃料給油口付近に燃料種別名を表示すること。
- (7) 車体に貼り付けるマグネットシート（白地）を次のとおり設けること。
なお、詳細については当本部から別途指示する。

(参考)「マイナ救急実施中！

マイナ保険証の提示にご協力ください」

3 枚 1 0 0 cm×2 0 cm

「STOP（赤字）熱中症！まずは予防から」

3 枚 1 0 0 cm×2 0 cm

- (8) 表示文字のサイズ・書体等についての詳細は別紙 1「車体塗装詳細図」を参考とし、別途協議するものとする。また、カッティングシートは再帰性に富んだ反射材（フロント及び屋根上部は除く）とする。

第 6 補則

- 1 納入時には各部の点検整備、清掃、給油脂を十分実施するとともに、積載機器は使用可能な状態に調整し、また燃料タンクに燃料を満たした状態で納入検収を受けること。

また、積載機器等に付属するもので、固定されていないものについては個々に分類して納入するものとする。

- 2 車両の納入期限は令和 9 年 3 月 1 9 日以内とする。
- 3 受注者は車両等の納入時、各種資器材の取り扱い及び点検整備についての指導員を派遣し、関係者に対して十分な説明をすること。
- 4 納入場所は、赤磐市消防本部とする。
- 5 保証期間は納入後 1 年間とする。
ただし、保証期間経過後といえども架装及び製品の不備欠陥に起因する故障もしくは破損の一切は受注者負担とし、速やかに修理交換するものとする。
- 6 予備品を附属すること。

(予備品)

予備リモコンキー×2 個

各種予備電球及び予備ヒューズ

補修用塗料（白）

- 7 本件車両の新規登録に関する手続き、登録、回送等に要する経費は受注者の負担とする。ただし、「自動車損害賠償責任保険」、「自動車重量税」及び「自動車リサイクル料」は当本部の負担とする。
- 8 当該車両に設ける支給品の移設置及び手続きは受注者側の負担とする。
なお、支給品について別表に記載のとおりとするが、詳細にあつては当本部と別途協議すること。
- 9 現行の車両（トヨタ・ハイメディック、平成 2 6 年 3 月 1 7 日購入、自動車型式

CBF－TRH226S) については、完成車引渡後に廃車もしくは一時抹消とし、費用は受注者側の負担とする。

第7 留意事項

- 1 自賠責保険料(25ヵ月)、自動車重量税、リサイクル手数料は、別途支払うので、入札内訳書の参考資料欄に記入すること。
- 2 議決を要する契約となり、議決を経たときから本契約の効力が生じるものとし、それまでの間は仮契約とする。仮契約締結後、議会の議決までに入札参加条件を満たさなくなったとき又は指名停止措置等（岡山県内の他の地方公共団体の措置を含む。）を受けたときは落札決定を取り消し、契約を締結しないものとする。

以下余白

別 表

高規格救急自動車取付品（同等品以上とする）

1 車両取付品および付属品

番号	品 名	摘 要	数 量
1	フロント消防マーク	メーカーマーク無し	1 式
2	サイドフラッシャーランプ	フロントドア上部 左右ルーフサイド取付	2
3	路肩灯	左右後輪前部取付（メインスイッチ付） L E D	1 式
4	隊長席側アウトサイドミラー	サイドバイザー取付含む	1 式
5	赤色点滅灯（フロント）	大阪サイレン製	1 式
6	赤色点滅灯（前側面部）	高輝度 L E D タイプ	2
7	赤色点滅灯（後側面部）	高輝度 L E D タイプ	2
8	赤色点滅灯（後方向け）	高輝度 L E D タイプ	1 式
9	赤色点滅灯（後部ドア下部裏面）	高輝度 L E D タイプ	1 式
10	フロントフォグランプ	メーカー設定バルブで可能	1 式
11	レスキューセット	600mmバール・ガラスカッター・シートベルトカッター ボルトクリッパー	1 式
12	バックブザー	音声合成・ブザー切替（メインスイッチ付）	1 式
13	赤帯	再帰性に富んだ反射材（フロント除く）	1 式
14	青帯	再帰性に富んだ反射材（フロント除く）	1 式
15	電子サイレン	大阪サイレン製 （音声合成・フェードインフェードアウト・イエल्प・マイク付）	1 式
16	フレキシブルマイク	大阪サイレン製	1 式
17	電流・電圧計	運転席インストルメントパネル内	1 式
18	フレキシブルマップランプ	助手席取付・L E D	1 式
19	助手席用インナーミラー		1
20	デジタル時計（温湿度計付き）	傷病者室取付（電波時計）※加工等含む	1
21	室内灯調光器取付		1 式
22	右アシストグリップ（前）取付		1
23	右アシストグリップ（後）取付		1
24	バックドア開口部大型アシストグリップ取付		1
25	ティッシュボックスホルダー取付		4
26	C型パネフック取付		必要数
27	冷温蔵庫（マキタ製CW003GZO）	A C出力コンセント取付を含む	1

番号	品 名	摘 要	数 量
28	メインストレッチャー（指定品）	ファーノ：エクステンジストレッチャー （モデル４０８０ＳトランスポーターレッドＪ） マットレス（モデル４１５５Ｊ） Softenピロー（枕固定ベルト付き） レストレイント（モデル４３０ １ピース）３本 ガートル架キット	１式
29	ルーフネット	フロント・リア	１式
30	酸素マスク収納庫取付	傷病者室取付	１式
31	収納庫（鉄蓋・ダイヤル式鍵付き）	傷病者室取付	１式
32	収納庫若しくは収納部	傷病者室取付	１式
33	収納庫若しくは棚	傷病者室取付	１式
34	ウェルパス収納庫	傷病者室取付	１
35	スクープストレッチャー（ファーノ） ＋バックボード固定装置取付	傷病者室の指定する位置 【メインストレッチャー右側（窓下側面収納庫）】	１式
36	オゾンクラスター１４００		１式
37	スイッチ盤	インパネ中央に取付（表示付）	１式
38	インバーター	正弦波３００Ｗ	１式
39	ヒューズボックス	艀装関係用	１式
40	ホワイトボード	傷病者室の指定する位置に取付	必要数
41	デジタル無線機及びＡＶＭ取付けのた めの配線関係（載せ替え）	デジタル無線機及びＡＶＭ取付け	１式
42	運転室フロアマット	ゴム製（純正品）	１式
43	牽引ロープ（載せ替え）	ソフトカーロープ（オレンジ）５ｍ ５ｔ	
44	非常用停止表示板（載せ替え）		
45	スペアタイヤ	純正サイズ・ホイール付	１本
46	スタッドレスタイヤ	純正サイズ（ＢＳ製）・純正ホイール付	４本
47	タイヤチェーン	ゴム製（サイクルチェーン）	１式
48	外部入力用マグネット式コンセント	リヤバンパーに取付 マグネット式コンセント用入力ケーブル １０ｍ	１式
49	消火器	４型	１式

2 観察用資器材

番号	品 名	摘 要	数 量
1	体温計	デジタル体温計 テルモ C208	1
		鼓膜体温計（ピジョン）予備プローブカバー2箱含む	1
2	血圧計	ウェルチアレン・アネロイド血圧計3組（ポケット型2チューブ）	1
		電子血圧計手首測定型	1
		ワンハンド式電子血圧計	1
3	聴診器	リットマン コアデジタル ステスコープ（成人用）	2
		リットマン クラシックⅡ ステスコープ（小児用）	1
		リットマン クラシックⅡ ステスコープ（新生児用）	1
4	ペンライト	瞳孔ゲージ付 LED	2
5	パルスオキシメータ	NISSEI BO-950	1
		MASIMO Rad-57	一式
6	患者監視装置	日本光電ベッドサイドモニター ライフスコープVS(BSM-3562) 付属品 1 式 OPT フィンガープローブ (TL-201T) × 2 マルチプローブ (TL-220T) × 2 ディスポオキシプローブ小児用 (TL-272T) 5 個入 × 5 CO2センサーキット (TG-980P) 1 組 エアウェイアダプター (YG-211T) 1 箱 十二誘導解析プログラム × 1 組 心電図誘導コード (12 誘導) × 1 成人用カフ (標準) × 2 成人用カフ (大) × 2 小児用カフ (標準) × 2 小児用カフ (小) × 2 心電図電極 日本光電ビトロード L-150X × 5 心電図電極 日本光電ビトロード NC-032Y × 5	1式
7	呼気終末二酸化炭素ガス測定器	マシモ EMMA	1
		成人用エアウェイアダプタ	3箱

3 呼吸・循環管理用資器材

番号	品 名	摘 要	数 量
1	手動式人工呼吸器	アンプ蘇生バックマークⅣ(リザーバー付)	4式
		アンプシリコンカフマスク サイズ5・4・2	各2
		アンプ蘇生バックマークⅣ新生児用(リザーバー付)	1式
		アンプシリコンカフマスク サイズ0	1
2	ガスサプライバルブ	ガスサプライバルブ(アンプ対応アダプター付)	1
3	自動式人工呼吸器	ANSWERLite	1式
		ディスポ呼吸回路セット【12セット/箱】	1
		ベンチサポートアーム	1
4	流量計付加湿酸素吸入装置	オキシパックNSY(OX-ⅢS) 内訳 減圧弁 高圧用ニードル×2 三方チーズ 高圧用×1 配管ホース 高圧用×1 ボンベ丸ハンドル 台付 ×1 二連式加湿酸素流量計オキシパックOX-ⅢS×1式 酸素吸入マスク 高濃度 成人用・小児用 各10個 中濃度 成人用・小児用 各10個 蘇生マスク(シリコンカフ大・中)各1個 部品収納バック(ネーム入り)×2個	1式
5	携帯型酸素吸入セット (バッグネーム入り)	流量付減圧弁FLW2型×1 収納ケース(マルチオキシゲンバッグWMOB-5)×3	1式
6	電動吸引器	パワーミニックⅡ 予備吸引ボトル・予備吸引チューブ・予備フィルター付	1式
7	輸液用資機材	輸液セット三方活栓付(成人用)	1箱
		静脈留置針スーパーキャス7(20、22G)	各2箱
		3MテガダームI.V.コンフォートフィルムドレッシング	3箱
		使用済み針入れ	2個
8	エアウェイ	ラリングルチューブサクシジョンLTSD(サイズ:3、4)	各5本
		アイジェル SIZE3、4	各5本
		気管挿管チューブ(サイズ7、8mm)	各5本
		挿管用スタイレット(大)	3本
		食道挿管検知器(フォローキャップ)	5個
		トーマス エアウェイチューブホルダー(大人用)	10個
		ウェルチ・アレンLED喉頭鏡セットA(ハンドルをショートに変更)	1式
		マギール鉗子(大・小)	各1本

番号	品 名	摘 要	数 量
9	自動除細動器（載せ替え）	自動除細動器 TEC-2601	
		予備用バッテリー（充電式）	
		電極リード線	
		フィンガープローブ	
		データカード2G×2	
		除細動レポート表示ソフト	
		キャリングバッグ	
		人形用アダプター×2	
		除細動パッド（20枚）	
10	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡	エアウェイスコープ（AWS-S100）	1式

4 創傷等保護用資器材

番号	品 名	摘 要	数 量
1	ロングバックボード	ハイテクバックボード モデル2010	2式
2	バックボードストラップ	NSYバックボードストラップ（片締め）	5本
3	ヘッドイモビライザー	モデル445（専用収納ケース付）	2式
4	スクープストレッチャー（指定品）	ファerno・モデル65EXL ピン付タイプ	1式
		ヘッドイモビライザー・#445-S（専用収納ケース付）	1式
5	頸部固定用副子	スティフネックセレクト（成人用・小児用）	各5式
6	駆血帯	駆血帯（エスマルヒ）	1
		井の内式（ブルー）	3本
7	バキュームスプリント	ボディーフィックススプリント	1式

5 保温・搬送用資器材

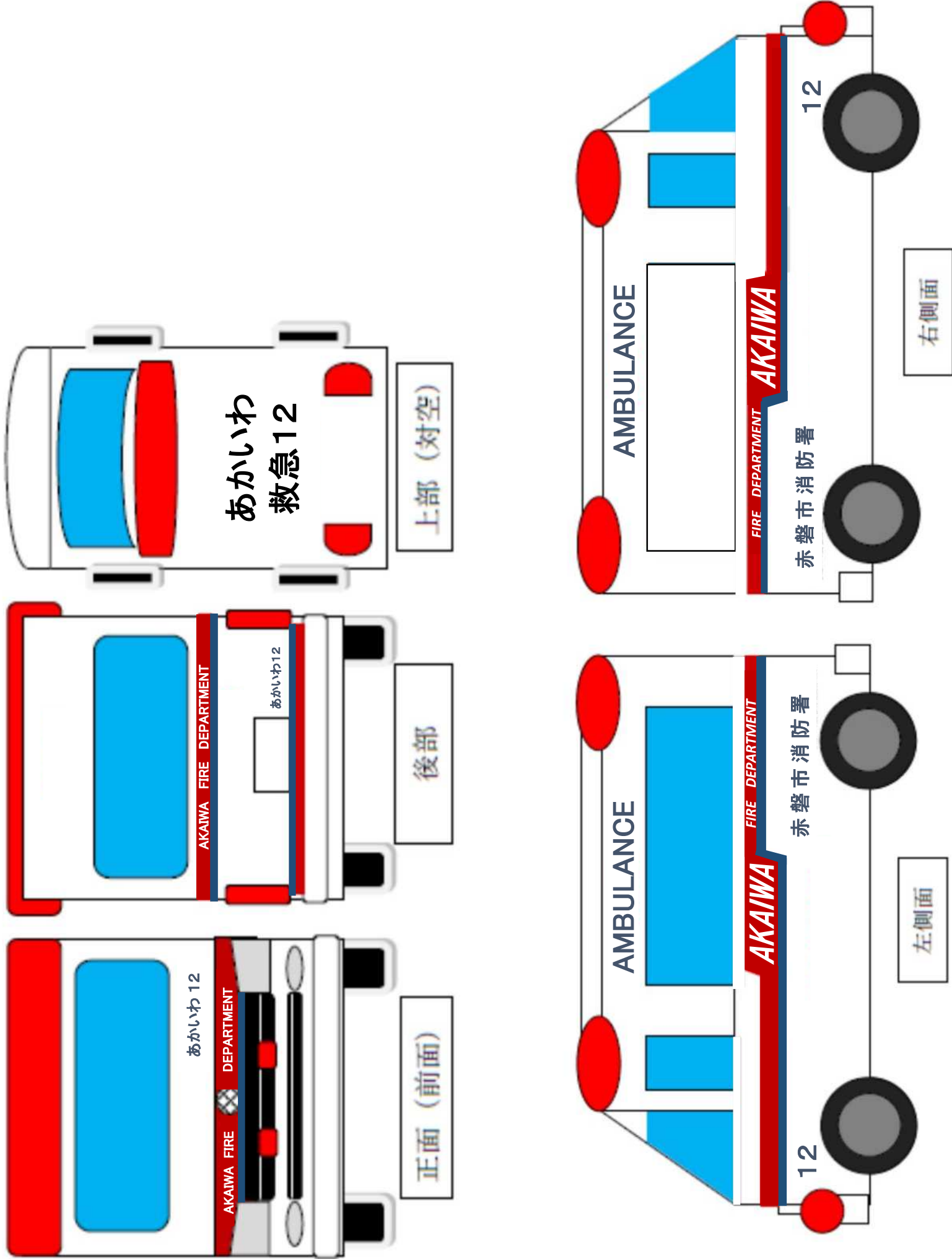
番号	品 名	摘 要	数 量
1	毛布（載せ替え）		
2	ストレッチャー用シート	ファernoシート（50枚入）	5箱
3	ターポリン担架	固定ベルト2本付	2
4	レインカバー	ディスポ・レインカバーDRCV-10	1
5	ペイシエントシールド	収納ケース付き モデル101255	2

6 その他の救急用資器材

番号	品 名	摘 要	数 量
1	リングカッター	替刃付	1
2	万能バサミ		2
3	膿盆セット	33cm・27cm・20cm 各1	1式
4	救急カバン	AK-500、AK-350（ネーム入）	各3個
5	ペーパータオルホルダー		1
6	タッパー（載せ替え）		
7	カーナビゲーションシステム取付	ナビゲーション＋全方向モニターカメラ取付	1式
8	ETC車載器	セパレート型（セットアップ含む）	1式
9	赤色誘導灯（載せ替え）	誘導灯	
10	懐中電灯（載せ替え）	PELICAN	
		GENTOS 0Z-334D	1
11	ドライブレコーダー	前後録画	1式
12	お産セット	タイプM	5

車両塗装詳細図

別紙1



入 札 内 訳 書

令和 年 月 日

赤磐市長 様

住 所
商号又は名称
氏 名

印

下記のとおり入札内訳書を提出します。

案件名	令和 8 年度高規格救急自動車購入	
台数	1 台	
		金 額 (円)
本 体 (車種名 :)		
オートマチック 4 輪駆動		
車両取付品、その他積載資機材、艀装等		
諸費用 (課税対象分)		
計 ①		
①に対する消費税 ②		
小 計 (①+②) ③		
諸費用 (非課税分) ④		
合 計 (③+④) ⑤		

入札価格 ⑥	
--------	--

※参考

自賠償保険料 (2 5 ヶ月)	
自動車重量税	
リサイクル手数料	